

【Oracleデータベースのライセンス体系】

■ Named User Plus (NUP)
使用するユーザーの数に比例したライセンスです。
一般的にユーザー数が少ない場合に有効です。
Oracle製品がインストールされるサーバーにアクセスする可能性がある全ての使用者の数で算出します。
※同時接続数、クライアント台数等はカウントしません。
※製品により最小ユーザー数が定められています。
Oracle Database Enterprise Edition: 25 NUP/1プロセッサ
Oracle Database Standard Edition: 5 NUP/1コンピュータ
Oracle Database Standard Edition One: 5 NUP/1コンピュータ
■ Processor(CPU)
サーバーに搭載しているプロセッサ数に比例したライセンスです。
利用人数、クライアント台数共に無制限で利用できます。
使用するユーザー数が多い場合は、不特定多数が利用するためユーザー数を数えられない場合は、こちらを適用してください。
Oracle製品がインストールされるサーバーに搭載されているプロセッサ数で算出します。
※マルチコアプロセッサの場合はコア係数の適用が必要となります。

【ライセンスアップグレード/ダウングレード】

以下のケースの場合は、差額によるライセンスアップグレードが可能です。

- Named User Plus から Processor への移行
- Oracle Database Standard Edition One から Oracle Database Standard Edition への移行
- Oracle Database Standard Edition One から Oracle Database Enterprise Edition への移行
- Oracle Database Standard Edition から Oracle Database Enterprise Edition への移行

具体的な金額などについては、都度個別にご相談ください。

以下のケースのように、下位の製品、Edition へのダウングレードは出来ません。

- Processor から Named User Plus への移行
- Oracle Database Enterprise Edition から Oracle Database Standard への移行
- Oracle Database Enterprise Edition から Oracle Database Standard Edition One への移行
- Oracle Database Standard Edition から Oracle Database Standard Edition One への移行

【Vmware等の仮想化環境におけるOracleライセンスのカウントおよびサポート】

仮想化環境を構築する際に、どのようなサーバー仮想化ソフトウェアを使用するかにより、ライセンスのカウント方法が異なってきます。

まずは、ご利用の仮想化ソフトウェアがAグループ・Bグループのどちらに属しているかご確認ください。

Aグループ(Hard Partitioning)

- Dynamic System Domains (DSD)
- Solaris 10 Containers (capped Containers only)
- LPAR
- MicroPartitions (capped Containers only)
- vPar
- nPar
- Integrity Virtual Machine (capped partitions only)
- Secure Resource Partitions (capped partitions only)

Bグループ(Soft Partitioning)

- Vmware
- Solaris 9 Resource Containers
- AIX Workload Manager
- HP Process Resource Manager
- Affinity Management
- Oracle VM (例外あり)

ご利用の仮想化ソフトウェアがAグループに属する場合は、仮想環境のうち、Oracleが稼動しているプロセッサに対してOracle Databaseのライセンスが必要です。

ただし、Standard Edition、Standard Edition One を導入する場合は、ご利用のサーバ全体がハードウェア制限内であることが必要となります。

ご利用の仮想化ソフトウェアがBグループに属する場合は、仮想OSの数などに関わらず、Oracle Databaseが導入されるサーバ全体の物理的なプロセッサ数のライセンスが対象としてカウントします。

(参考URL)

<http://www.oracle.com/jp/direct/partitioning-jp-168078-ja.pdf>

<http://www.oracle.com/jp/corporate/pricing/faq-07-187876-ja.html#Faq7-6>